

# 出

# 愛

令和5年度 流山市立おおぐろの森中学校  
第1学年 学年だより 第4号  
令和5年7月12日発行

## 「先生たちの声が聞こえない校外学習＝自分たちで作らあげる校外学習」を表現できた!!

6月14日に校外学習が行われました。関東の梅雨入りも発表され、前日まであいにくの雨つづきだった中、当日も雨の予報でしたが、外で活動する時は雨が止むという幸運な天気でした。生徒たちの日頃の行いでしょう！中学校生活初めての校外学習でしたが、素早い行動と助け合いによって、先生たちの想像をはるかに上回るスピードで行程を終えることができました。自分たちで考えて行動し、自分たちの力でできたからこそ、この結果はとても価値のあるものだと思います。

「校外学習は、朝の集まり方が大切です。朝どういう様子で集まるかで、校外学習の1日の雰囲気が決まります。」という話がありました。当日の朝、生徒たちは集合時間の7:30には整然と整列し、点呼が開始されました。そこに先生たちからの声は全くありませんでした。「素晴らしい！」と学年主任から感激の一言があり、校外学習をスタートさせたことはとても立派でした。

そして、丸木美術館では学芸員の岡村幸宣さんの話を真剣に聞く姿や、美術館という場所での振る舞いを考えて行動する姿が見られました。原爆などの被害に遭われた方々の絵や説明文を見てメモをとる姿や、学芸員さんに質問をする生徒の姿も見られ、原爆図を心で感じ、学ぶ姿勢を大切にしている様子を感じられました。事後学習では、「絵を見ることで、どう平和を考えるのか」や「過去の惨禍を記憶する意味とは何か」について考え、さらに学習を深めてほしいと思います。

午後のオリエンテーリングでは、地図をたよりに、班で力を合わせて多くのポイントを獲得することを目標に、ゴールを目指しました。険しい道もありましたが、疲れ果てて班員みんなでゴールする姿には、達成感が窺えました。

普段ではなかなか経験できないことを体験し、自分たちで考えて行動した校外学習をやり終えたその気持ちを大切に、「自主・自律・共生」に向かって成長していくことを期待しています。



中学校生活初めての校外学習。子どもも大人も楽しんでいる様子！



学芸員さんに質問する生徒もいました。とてもお忙しい方で、なかなか話を聞くことができないので、貴重な経験でしたね。



地図を見ながら、多くのポイントを獲得するために、班みんなで話し合ってゴールを目指しました。



優勝は5組2班！圧倒的な早さでゴールしました！力を合わせてよく頑張りました。おめでとう！！



丸木美術館の絵は想像していたよりも大きく、絵から伝わってくる悲惨さを心で感じている様子でした。



昼食は、班みんなでお弁当！給食の時とは違い、みんなで向き合って食べられたのが嬉しい！



時程変更にも動じず、冷静に対応する実行委員の生徒たち。とても立派で、頼もしさを感じました！

雨予報  
曇りに変える  
1学年

校長 前川 秀幸

